

## Q RSSについて教えてください

### A

#### RSSとは

インターネット上には、日々、さまざまなWebサイトから膨大な情報が発信されていますが、従来は新しく情報が発信されたことを知るためには、実際に各サイトを訪れる必要がありました。

RSSは、これらのサイトから配信される情報の要約を記述するためのフォーマットで、ユーザは、RSSリーダーという専用のソフトウェアに、興味のあるサイトのRSSを登録しておくだけで、各サイトの新着の情報を自動的に一括で受け取ることができます。

#### RSSは1つではない

ところでRSSとは何の略称でしょうか？ 実はRSSと呼ばれるフォーマットは1つではありません。RSSには、その成り立ちの経緯から、大きく仕様が異なり別個の正式名称を持つ複数のバージョンが存在します。図1にRSSの系譜を示します。

最初のRSSであるRSS0.9は、Netscapeが自社のポータルサイトでニュースなどの情報の見出しを表示するために考案したものです。この仕様は、RDF (Resource Description Framework) というコンテンツのメタデータを記述する仕

様に準拠していたため、「RDF Site Summary」、略してRSSと名付けられました。

このRSS0.9の後継に、RDF準拠、かつ情報要素の拡張を厳密に定義できることを特徴とするRSS1.0という仕様があり、現在では国内のほとんどのブログサービスでこのRSS1.0が使われています。

またRSS0.9からは、RSS1.0以外にも、RDFを使わない独自の記述形式を採用した、「Rich Site Summary」と呼ばれるいくつかのバージョンを経由して、「Really Simple Syndication」、略称ではRSS2.0と呼ばれる仕様も生まれました。RSS2.0は構造の単純さ、高い拡張性、標準で音声などのメディアファイルを扱えることに特徴があり、こちらも現在RSS1.0とともに広く一般に使われています。なお、RSS1.0とRSS2.0の間に互換性はありませんが、記述されている内容には共通点が多く、一般的なRSSリーダーは両方のRSSに対応しているの、通常、ユーザはその違いを意識する必要はありません。

またコンテンツ配信用の記述形式としてはRSS以外にもIETF (Internet Engineering Task Force) で標準化が進められているAtomというフォーマットが存在し、RSSも含めたこれらのフォーマットで記述されたファイルのことを、「フィード (feed)」と呼ぶこともあります。

#### RSSには何が書かれているか

RSSは、XML (eXtensible Markup Language) という文書形式で記述されており、ソフトウェアで解釈できるよう定義された「タグ」で、意味を指定しながら内容を記述していきます。

「ブログサイト1」というサイトから、「記事1」「記事2」という記事が配信されている様子を記述した例を示します(図2)。

RSSでは、channelというタグで囲まれた領域にサイト全体の情報を記述します。さらに、itemというタグでサイト内の個々の構成要素(ブログでいえば記事)の情報を記述します。

この例では、channelタグで囲まれた部分のtitle、link、itemというタグで、それぞれブログサイトのタイトル、URL、各記事の詳細を記述しています。そして、その中のitemタグで囲まれた部分では、さらにtitle、description、linkというタグで、各記事のタイトル、記事の要約、URLを記

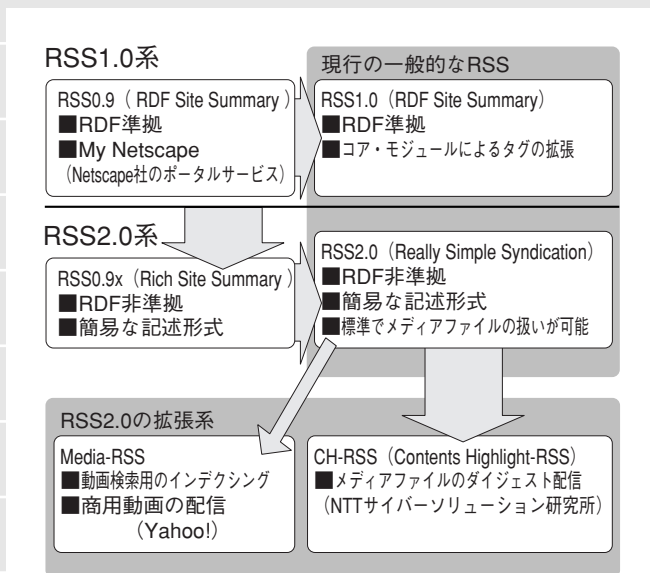


図1 RSSの系譜

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<rss version="2.0" xmlns:chrss="http://www.cyber-trial.com/chrss/">
  <channel>
    スキーマ（構文）の指定、タグの拡張が可能
    <title>ブログサイト 1</title>
    <link>http://www.blog-example.com</link>
  </channel>
  構成要素 1
  <item>
    <title>記事 1</title>
    <description>記事 1 の要約。通常は自動生成</description>
    <link>http://www.blog-example.com/kiji 1 . html</link>
  </item>
  構成要素 2
  <item>
    <title>記事 2</title>
    <description>記事 2 の要約</description>
    <link>http://www.blog-example.com/kiji 2 . html</link>
  </item>
  …
  </channel>
</rss>

```

図 2 RSS (RSS2.0)の記述例

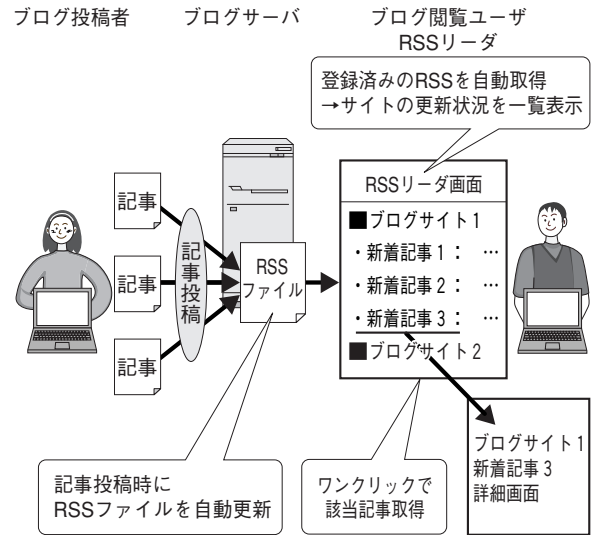


図 3 ブログシステムにおけるRSSによる新着記事配信

述しています。

またXMLには、スキーマと呼ばれる構文を指定する領域があり、ここに情報を追加することで、標準以外の追加タグや独自タグを使えるよう拡張することができます。

### RSSの利用例：ブログサービス

図 3 は、もっとも一般的なRSSの利用例であるブログサービスにおける新着記事配信の仕組みを示したものです。

ブログに記事が投稿されると、ブログサーバは自動的にRSSファイル（RSSフィード）を最新の状態に更新します。

一方、ブログ閲覧ユーザは、RSSリーダにRSSファイルのURLを登録することで、このサイトの新着記事の配信を受けることができます。

一般的なRSSリーダは、登録されているRSSファイルを定期的にブログサーバから取得して、得られた情報を基に新着記事や未読記事の見出しや要約を一覧表示します。この一覧の中から、記事を選択してクリックすると、RSSに記載されているURLから記事本体を取得して、詳しい内容を表示するようになっています。

近年、RSSリーダの機能は、Webブラウザやメールソフトに統合されつつあります。例えばMicrosoftのInternet Explorerでも次期バージョン（IE 7）からRSSリーダ機能が搭載されます。

### 最近の動向

近年、RSSは「ポッドキャスト」と呼ばれるサービスに代

表されるような、音声や映像といったメディアファイルの配信での利用が注目され、それに合わせてRSSを拡張する動きが出てきました。

例えばYahoo!はMedia-RSSという仕様を提唱しており、NTTもCH-RSS（Contents Highlight-RSS）というRSS2.0を拡張した仕様を発表しています。CH-RSSでは映像のシーン情報に関する記述や、映像のダイジェスト化に必要なタグが用意されていて、映像に対応したRSSリーダによって、サイトの新着映像をダイジェスト映像の一覧で直感的に分かりやすいかたちで提示することができます。CH-RSSの利用例は<http://www.chocopara.tv>で確認できます。

またOSや各種アプリケーションで利用するデータの扱いに、RSSを利用しようという動きもあります。Microsoftは次期主力OS、Windows VistaでのRSS対応をうたっており、取り扱うデータの特性に合わせたRSSの拡張を行っています。一例としては、スケジューラのように双方向で同期が必要な情報に対応するための技術、SSE（Simple Sharing Extensions）があげられます。

このように、RSS関連技術は、さまざまな分野で活躍の範囲を広げるとともに、ブラウザやOSにも組み込まれるなど、今やインターネットの利用に必要不可欠になりつつあります。

このコーナーで取り上げて欲しい質問をE-mailで編集部までお寄せください。  
●(社)電気通信協会内 NTT技術誌事務局 E-mail jrr@tta.or.jp